

ねがみ さちえ さん から

おおあさぶんかん  
大麻分館の  
おはなし会を担当

オススメ!



『おかしなおきゃくさま』

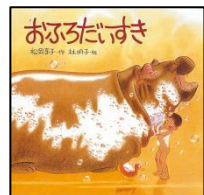
ペク ヒナ/作  
(学研プラス)

ある雨の日。おかしなまいごのお客さまがやってきました。ほくとおねえちゃん、もてなそうとがんばりますが…。ゆかいでかわいらしい絵本です。

『イエコさん』

かどの えいこ  
角野 栄子/ぶん ユリア・ヴォリ/え  
(ブロンズ新社)

イエコさんは、森のそばにある古い家。おいしいものを食べて、エクササイズして、どんどん大きくなっていくイエコさん。ちょっとこわくてゆかいなお話です。



『おふろだいすき』

まつおか きょうこ さく はやし あきこ 絵  
松岡 享子/作 林 明子/絵  
(福音館書店)

ぼくは、あひるのプッカと二人でおふろに入ります。あらあら、お湯の中からざあーっとカメがういてきました。ペンギンも、カバも…つぎつぎ動物があらわれる楽しいおふろ絵本です。

まつやま かずこ さん から

ほんかん かようび  
本館(火曜日)の  
おはなし会を担当

オススメ!



『くものこどもたち』

ジョン・バーニングガム/さく  
(ほるぷ出版)

高い山をのぼって、足をふみはずしてしまったアルバート! 目がさめて、雲の世界の子どもたちと遊びます。飛んだりねたり。自分のベッドに戻ってきたけど、その時のおまじないは、思い出せない…。

『ふしぎなタクシー (こどものとも 1983年10月号)』

わたなべ しげお さく おおとも やすお 絵  
渡辺 茂男/さく 大友 康夫/え (福音館書店)

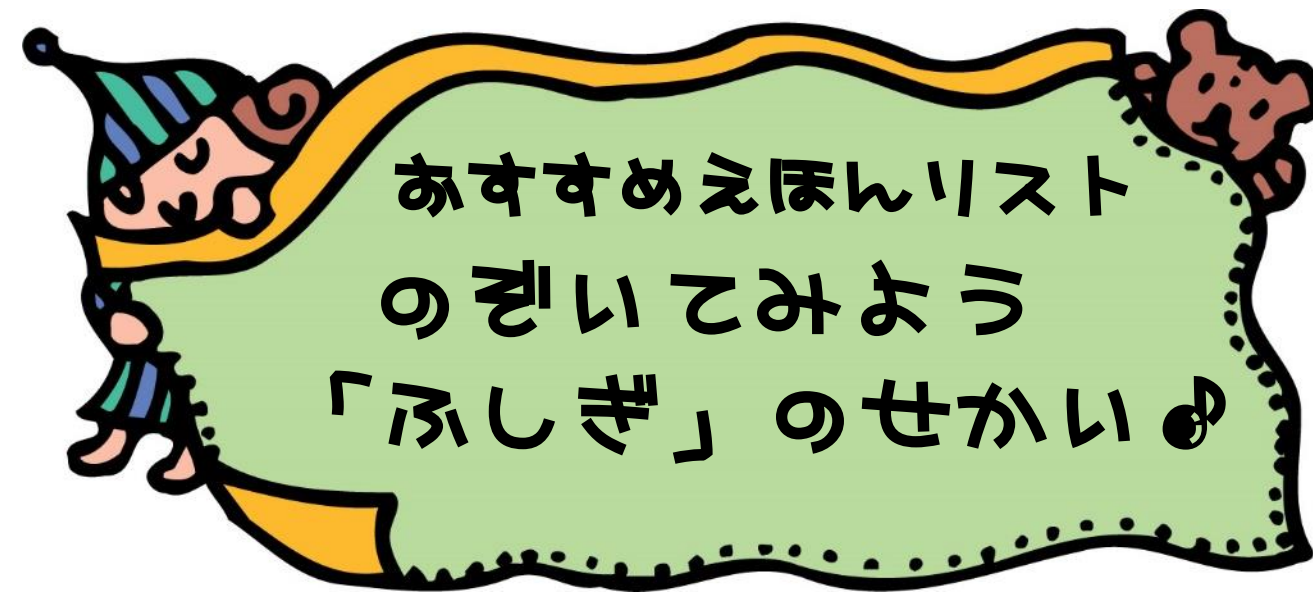
森の近くを黄色いタクシーがはしります。きつねのえりまきのお客さまがおりたあと、つぎつぎ動物たちを乗せていくと、タクシーが大きくなって、形も変わって、おおさわぎ。おまじないをとええると…?

『グロースターの仕たて屋』

(ピーターラビットの絵本)

ピアトリクス・ポター/さく・え (福音館書店)

グロースターの町の仕たて屋さん。だいじな服をたのまれたのに、病気になるって作れない。家で寝ている間にお店でせつせと縫っていたのは誰? 約束の朝には、りっぱな服が、ほら!



えべつしじょうほうとしょかん  
2021年4月発行



かたぎり あゆこ さん から

ほんかん かようび おおあさぶんかん  
本館(火曜日)と大麻分館の  
おはなし会を担当

オススメ!



『なのなの』

うちだ りんたろう ぶん  
内田 麟太郎/ぶん  
おおしま たえこ 絵  
大島 妙子/え (童心社)



小さい頃の気持ちがいっぱい。こんなかいじゅうがいたらいいなあ。じわじわとしみる本です。

『へんてこもりにいこうよ』

たかどの ほうこ/作・絵 (偕成社)

家族みんなが大好きな本で、何度も声を出して読むうちに、自分もこのお話の一員になったような気持ちになります。ちょっと大きなお友だちへ。

『シュシナーナとサバリコピレ』

こばやし ゆうじ え まつじ とみ ぶん ぶん  
小林 裕児/絵 松居 友/文 (福武書店)

わたしがおはなし会をするようになったきっかけをくださった先生がプレゼントしてくれた本です。1ページ目から引きこまれる世界は、読むうちに楽しい音楽とともに動きだします。

すすき のりこ さん から

ほんかん かようび  
本館(火曜日)の  
おはなし会を担当

オススメ!



『トムテ』

ヴィクトール = リードベリ/さく  
ハラルド = ウィーベリ/え (偕成社)  
ひとびと みまも  
人々を見守る、こびとのトムテのお話です。しずかでやさしい言葉と絵が、心をおだやかにしてくれます。

『ぶきやぶきやぶー』

うちだ りんたろう ぶん たけうち つが え ぶんかん  
内田 麟太郎/文 竹内 通雅/絵 (絵本館)

ブタおじさんのバスには、へんてこなものがたくさん乗ってきます。おじさんのバスは、ふしぎな世界への入り口です。ぶきやぶきやぶーの世界へようこそ。

『きよだいなきよだいな』

なががわ せつこ さく ありや なな 絵  
長谷川 摂子/作 降矢 なな/絵  
(福音館書店)

『もりのかくれんぼう』

すえよし あきこ さく はやし あきこ 絵  
末吉 暁子/作 林 明子/絵  
(偕成社)

『おいしいのぼうけん』

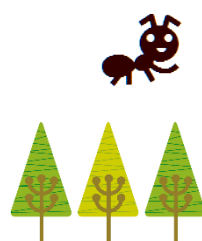
ふるた たるひ/さく たばた せいいち/画 (童心社)



それ知ってる!

なつかしい!

…の聲が聞こえてきそうなこの絵本も!

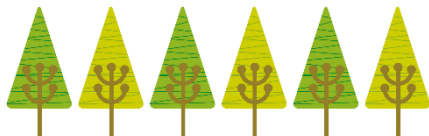


# じょうほうとしょかんのししよから

ほんかん (第2・第5土曜日) の  
おはなし会もきてみてね!



オススメ!



『まるまるまるのほん』  
エルヴェ・テュレ/さく  
(ポプラ社)

ページのまんなかにかいてある、黄色いまる。押ししてみたら、なにがおきるかな? つぎからつぎへとページを開きたくなる、子どもも大人も楽しめる絵本です。

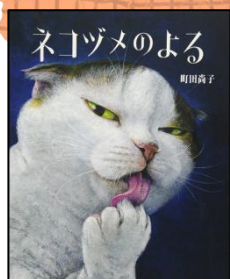


『の』  
じゅないだ ちよ  
Junaida/著  
ふくいんかんしよてん  
(福音館書店)

“わたしの” から始まって、いろいろなものにつながっていく言葉。最後はどこにつながるのかな? 絵から自分だけのお話を想像するのも楽しいよ。



『かべのあっちとこっち』  
ジョン・エイジー/さく  
(潮出版社)



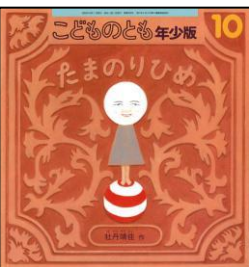
『ネコツメのよる』  
まちだ なおこ  
町田 尚子/作  
(WAVE出版)



『モリス・レスモアとふしぎな空とぶ本』  
ウィリアム・ジョイス/作・絵  
(徳間書店)

よんだ?

よんだ?



よんでみて!

『たまのりひめ (こどものとも年少版2006年10月号)』  
牡丹 靖佳/作 (福音館書店)

おともをすらすらひきつけて、玉に乗ったおひめさまが進みます。美しい絵とリズムカルな言葉。読めば読むほど、そのふしぎな世界のとりこになってしまいそう。静かな語り口からの予想もつかない結末にびっくり!



『さわってごらん! ふしぎなふしぎなまほうの木』  
クリスティ・マシソン/作  
(ひさかたチャイルド)

いっほんの木があります。言われたとおりに、えだにさわったり、ページをめくったりすると、あらあら ふしぎ! すっきりと美しい作品を、みんなでいっしょに作りませんか?



『ほんのなかのほんのなかのほん』  
ジュリアン・パール/さく  
シモン・バイ/え  
(くもん出版)

『トラといっしょに』  
ダイアン・ホフマイアー/文  
ジェシー・ホジソン/絵  
(徳間書店)



『てのりにんじゃ』  
やまだ マチ/作  
北村 裕花/絵  
(ひさかたチャイルド)



『さらじいさん』  
はせがわ はっち/著  
(プロンズ新社)

おさらに描かれたぼうずあたまのおじいさんの手がにゅっと伸びて、わたしのドーナツを持っていっちゃった! おさらの中のふしぎな世界で追いかけて!



『さくらの谷』  
とみやま ようこ  
富安 陽子/文  
まつなり まりこ  
松成 真理子/絵  
(偕成社)



『みんなのおすし』  
はらぺこめがね/作  
(ポプラ社)

お客様にぴったりのおすしで、おもてなし! なんでもにぎってくれるおすし屋さんには、今日もちょっと変わったお客様がやってきます。



『ねるじかん』  
すずき のりたけ/作・絵  
(アリス館)

まだ眠くないのに、寝る時間なんて…。あれっ? まどの外に大きな魚がいるよ! あっ、ポストが歩いている!? ワクワクが止まらない、ふしぎな夜の世界へようこそ!